

キリンの死亡原因について

昨年の11月25日と12月25日に死亡したキリンの死亡原因について帯広畜産大学から病理解剖・病理組織診断報告書が提出されましたので、お知らせします。

【個体情報】愛称：ムサシ 性別：オス

出生年月日：1996年7月12日（19才）千葉市動物公園生まれ

来園年月日：1999年11月27日 東北サファリパークより

死亡年月日：2015年11月25日

死亡時の状況

11月25日

21：00 宿直員による巡回で倒れているムサシを確認

21：30 飼育員、獣医師の到着時には、すでに死亡

【個体情報】愛称：リボン 性別：メス

出生年月日：2007年5月27日（8才）盛岡市動物公園生まれ

来園年月日：2010年10月21日 盛岡市動物公園より

死亡年月日：2015年12月25日

繁殖経歴：2012年5月26日（オス）・2014年9月21日（オス）

死亡時の状況

12月24日

21：00 宿直員による巡回時に座り込んでいるリボンを確認

21：30 飼育員、獣医師が起立を促すが起立不能

12月25日

1：40 死亡確認

【病理解剖学および病理組織学的所見】

ムサシとリボンともに病理解剖学的ならびに病理組織学的ともに死因と結びつく所見は認められませんでした。

キリンでは生前健康状態に異常が観察されていないにもかかわらず突然死を来す、「キリンの突然死症候群」と呼ばれる疾患群が報告されています。本症例についても検査範囲では同症候群矛盾しない結果が得られていますが、確定的な証拠は得られていません。

以上が帯広畜産大学の報告になります。

【備考】メスのリボンは帯広畜産大学における病理解剖時に妊娠後期であったことを確認しています。

